

卒後教育講座

現場のニーズと社会情勢に応じた
全ての薬剤師に必要な知識を学ぼう

2025年度の卒後教育講座は、対面のみ2日間と、ご都合にあわせて受講できるeラーニングを組合せました。対面講義も事後オンデマンド配信しますので、繰り返し復習できます。また欠席した場合は、eラーニングで単位取得が可能です。授乳婦やCKD、ポリファーマシーといったニーズの高いテーマの他、生成AI、RMP、災害時医療などトピック的なテーマも取り上げています。

●対面6講義 ※オンデマンド配信も有り			
2025年 6/15(日)	10:00~11:30	生成AI活用術～医師による薬剤師のためのChatGPT入門を中心に～	
	12:30~14:00	授乳婦への投薬：どの情報を使い、どこまで伝えますか	
	14:15~15:45	RMPを基礎から学ぶ～様々な医薬品情報をどう扱っていくか～	
2025年 7/13(日)	10:00~11:30	セルフレディケーションの現状と課題、薬剤師への提言	
	12:30~14:00	在宅医療の本質と正しい薬剤師の関わり方	
	14:15~15:45	地域で取り組む医療安全～患者安全のために取り組むべき課題～	
●オンデマンドのみ(eラーニング)4講義			
2025年 6/1(日)～ 2026年 2/28(土) 配信	①	患者さんに伝えたい”腎臓を守ることは、命を守ること”	
	②	ポリファーマシーを解消する病診薬連携	
	③	災害時医療と感染対策～地域を守る薬剤師に求められること～	
	④	漢方薬の服薬指導とアフターフォローのポイント～在宅と家庭薬膳教室の実践から～	

- 場所：京都薬科大学愛学館A31講義室 & オンデマンド配信
- 定員：200名 ■研修単位(G24)：計10単位
- 参加費：12,500円
- 申込受付期間：2025年4月1日(火)～6月2日(月)

臨床推論ステップアップ講座

<入門編>

臨床推論に基づくフィジカルアセスメントの活用法と妥当性検討

実症例を用いて問診、検査値などの情報収集により診断仮説を立て、フィジカルアセスメントを活用して仮説妥当性の検証を行う過程を理解することにより、薬剤師として、安全で最適な薬物治療を目指します。

2025年 5/11(日) 10:00～ 16:00	1.フィジカルアセスメント総論 医師・看護師・薬剤師のフィジカルアセスメント目的を知ろう 2.臨床推論に活用できる基礎知識 病態生理から明らかにする「血圧・循環・脱水・浮腫」、実症例では「循環動態」をどうイメージするか、医師による「症候学の理論」、看護師による「よくみる症候に対する看護」 3.事例で学ぶ臨床推論 主訴から段階を踏んで行うSGD
-------------------------------------	---

SGDはGoogleフォームを利用した双方向での演習です。

- 場所：ご自宅にてオンライン(Zoom)受講
- 定員：100名(オンライン) ■研修単位(G24)：3単位
- 参加費：6,500円
- 申込受付期間：2025年3月12日(水)～4月28日(月)

臨床推論ステップアップ講座

<実践編>

フィジカルアセスメントを活用した臨床推論の実践
バイタルサイン収集やアセスメントの実技実習による手技習得に留まらず、測定結果をどう評価し、患者にどう活かすかを主眼においたプログラムです。多職種の中で薬剤師としてのアセスメントの重要性を実感してください。※今年度は秋実施です。

2025年 9/28(日) 10:00～ 16:30	1.<講義・実技実習>バイタルサイン情報収集スキル習得 2.ランチョンミーティング ※軽食付き 3.<講義・SGD>フィジカルアセスメントを活用した臨床推論
-------------------------------------	--

- 場所：京都薬科大学臨床薬学教育研究センター
- 定員：20名(薬剤師限定) ■研修単位(G24)：3.5単位
- 参加費：10,500円
- 申込受付期間：2025年3月12日(水)～9月15日(月)

アカデミックスキル基礎講座

<基礎1:症例報告の書き方>

スキルアップの基盤となるアカデミックスキルの基本を学ぶ

薬歴や症例報告における文章の書き方の基本を学んだ後、実際に症例報告を作成して学んだスキルを実践します。教員とのフリー討論の時間も有り、具体的な相談も可能です。※2025年度新規開講です。

2025年 9/7(日) 9:30～ 16:00	1.<講義>文章の書き方(薬歴、症例報告) 2.<演習・講義>症例報告作成 模擬症例を用いた症例報告作成、ディスカッション・症例の見つけ方 3.相談会
-----------------------------------	--

- 場所：京都薬科大学愛学館A32講義室
- 定員：100名(薬剤師限定) ■研修単位(G24)：3単位
- 参加費：3,500円
- 申込受付期間：2025年7月9日(水)～8月25日(月)

eラーニング講座

時間と場所に縛られないマイペース受講

本年度の卒後教育講座10講義と京都漢方研究会の12講義をオンデマンド配信します。2024年度卒後教育講座と漢方講座も再配信します。配信期間中、何時でも何度でも視聴できます。ご自身のニーズに合ったコースにお申込みください。

		配信数	参加費
①全視聴コース	2025年度卒後教育講座・京都漢方研究会講義の収録動画を順次配信、2024年度卒後教育講座・漢方講座を再配信	44	30,500円
②当年度コース	2025年度卒後教育講座・京都漢方研究会講義の収録動画を順次配信	22	22,500円
③卒後コース	2025年度卒後教育講座の収録動画を順次配信、2024年度卒後教育講座を再配信	20	20,500円
④漢方コース	2025年度京都漢方研究会講義の収録動画を順次配信、2024年度漢方講座を再配信	24	24,500円

※従来の漢方講座(ハイブリッド)は開講しませんので、

②当年度コースまたは④漢方コースでのオンデマンド受講をお願いします。

- 配信期間：2025年6月1日(日)～2026年2月28日(土)
- 申込受付期間：2025年4月1日(火)～2026年2月24日(火)

実務支援セミナー

在宅医療における注射薬の設備導入とポイント

従来の丁寧な実技実習はそのままに、在宅医療に焦点を当てた内容にリニューアルしました。導入講義では在宅医療における無菌設備の基本知識やPCAポンプの使用法などを学びます。また、ランチョンミーティングを設け、参加者間で日頃の疑問等を共有する時間を増やしました。

2026年 3/1(日) 10:00～ 16:00	事前eラーニング	☑注射薬無菌混合調製に必要な基本的知識 ・外来化学療法の実際
	導入講義	・無菌設備導入に関する制度改正と環境の変化 ・2024年調剤報酬改定での無菌製剤に対する報酬の変化 ・PCAポンプを使ったオピオイドの無菌調製
	ランチョンミーティング	
	実技実習	・衛生的手洗い(ラビング法、スクラブ法) ・ガウン、手袋、帽子、マスクの装着 ・注射薬混合調製(アンブル、バイアルの取扱い、薬液採取、陰圧操作) ・TPNバッグの取扱い ・ガウン脱衣
	情報共有	・事前動画や実技実習に対する質疑応答 ・施設における注射剤の問題点や課題の共有

- 場所：京都薬科大学 臨床薬学教育研究センター
- 定員：20名(薬剤師限定)
- 研修単位(G24)：4.5単位 ※事前eラーニング1単位含
- 参加費：10,500円
- 申込受付期間：2025年12月17日(水)～2026年2月16日(月)